

マイナスからの再起を果たしたベンチャー企業

JB コーポレーション

<http://jbcorp.net/>

何かとリスクが伴うビジネスの世界。成功道をまっしぐらに突き進むヒーロー的存在の起業家はごく僅か。成功を夢見ながらも、多額の借金を抱えて敗北していく者も数多いのが現状です。JB コーポレーションは、マイナスからの再起を実現したベンチャー企業です。

● 5校を展開した英会話学校が倒産、大手機関に吸収される

JB コーポレーション代表の神保氏は、かつては、我が国に英会話学校という学習機関がほとんどない頃、ベニヤ板1枚の看板から英会話学校をスタートさせました。生徒はまたたく間に増えていき、東京の多摩地区に5校を構え、スタッフを80人程抱えるまでに成長していきました。しかしながら、業界の競争激化により、1995年には倒産を余儀なくされ、ついに、大手教育機関に吸収されてしまいました。

● パソコン1台、プリンタ1台から始めた印刷業

多額の借金を抱え込んでしまった神保氏は、残されたパソコンとプリンタを使って新たなビジネスを考えました。まずは名刺印刷を手がけましたが、顧客の要望する色が出ないなど苦労は耐えませんでした。試行錯誤を繰り返しながら少しずつ顧客をつかんでいきました。

● 印刷業界の特性をうまく捉えた営業手法を確立

営業活動を重ねていくうちに、印刷業者の多くが「待ち」の姿勢で営業していることに気づきました。これをチャンスととらえ、顧客のあらゆるニーズを掘り起こし、提案型の営業展開をしていきました。そして、アルバム作り、Tシャツへのデザインプリント、ワインラベルの作成など少しずつ商品の種類を拡大させ、設備についても、名刺裁断機、カラーコピー機はもちろん、特殊印刷機なども導入し、充実化を図りました。

● 強力商品の開発、大手企業からの受注を実現する

2000年になり、自社オリジナルの商品開発の必要性を感じ情報収集していたところ、結婚式で使うウェルカムボードに目がとまりました。これまでのウェルカムボードは木、アルミ板などを使っており、あまり特色が見られないものばかりでした。ここに目をつけ、タイル製のウェルカムボード開発に乗り出しました。その結果、大手の結婚式場からの受注をはじめ、ブライダルコンサルタントからも引き合いが来るようになり、今では売上高の7割を占めるまでになっています。また、ホームページを開設し、全国に向けたネット上での営業活動も積極的に行っています。神保氏は、「倒産という苦い経験をするまでは企

業規模の拡大にとらわれていた。これからは、外部ネットワークを活用して少数精鋭で事業を展開したい」と語っています。

●ビジネスは「人」なり

JB コーポレーションは、敗北から這い上がってきた起業家が再起を賭けてビジネスに挑んだ物語を語り続けています。この事例は、常に前向きで、志を強く持ち、軽いフットワークで事業にあたるのが、可能性を押し広げるパワーになることを教えてくれます。

<企業概要>

- 有限会社 JB コーポレーション
- 代表取締役 神保 悟志
- 住所 〒183-0046 東京都府中市西原町 3-18-3
- 電 話 0425-76-0703
- F A X 0425-76-0703